

## 7. 土木工事品質の規格値 (参考)

品質の規格値 (参考)

番号	検査対象		規格値	摘要
	工種	項目		
1	道路土工	締固め密度	(路体) 最大乾燥密度の85%以上。 (路床) 最大乾燥密度の90%以上。	
2	下層路盤	締固め密度	最大乾燥密度の93%を20回に1回以上の確率で下がってはならない。	
3	粒度調整路盤	締固め密度	下層路盤に同じ。	
		粒 度	2.5mmふるい±15%及び0.074ふるい±6%を20回に1回以上の確率で下がってはならない。	
4	アスファルト安定処理路盤	混合物の粒度	粒度調整路盤に同じ。	
		混合物のアスファルト量	±1.2%を20回に1回以上の確率で下がってはならない。	
		締固め密度	基準密度の93%を20回に1回以上の確率で下がってはならない。	
5	セメント安定処理路盤	締固め密度	下層路盤に同じ。	
		粒 度	粒度調整路盤に同じ。	
		セメント量	±1.2%を20回に1回以上の確率で下がってはならない。	
6	セメントコンクリート(コンクリート)舗装を含む)	圧 縮 強 度	(a) 1回の試験結果は、購入者が指定した呼び強度の値(4)の85%以上でなければならない。 (b) 3回の試験結果の平均値は、購入者が指定した呼び強度の値(4)以上でなければならない。 注 (3) 強度試験における供試体の材令は、標準品の場合28日、特注品の場合購入者の指定した日数とする。 (4) kgf/cm <sup>2</sup> (N/cm <sup>2</sup> ) で表した値である。	
		曲 げ 強 度	同時に作った3本の供試体の平均値は、基準強度の80%を1/30以上の確率で下がってはならない。 また、基準強度を1/5以上の確率で下がってはならない。	
		ス ラ ン プ	3 cm 未満 ±1.0cm 3 cm以上 8 cm未満 ±1.5cm 8 cm 以上 ±2.5cm	

番号	検査対象		規格値	摘要
	工種	項目		
6	セメント コンクリート (コンクリート 舗装を含む)	空気量	5%未満 ±1.0% 5%以上 ±1.5%	
7	アスファルト 舗装	混合物の粒度	2.5mmふるい±12%及び0.074mmふるい±5% を20回に1回以上の確率で下がってはならない。	
		混合物の アスファルト量	±0.9%を20回に1回以上の確率で下がってはならない。	
		密度 (車道)	基準密度の94%を20回に1回以上の確率で下がってはならない。	
		密度 (歩道・路肩)	基準密度の90%を10回に1回以上の確率で下がってはならない。	